

## 地域医療支援病院業務報告要旨

### I 概要

医療機関コード	1311115427					
病院名	独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院					
所在地	東京都大田区大森南4丁目13番21号					
管理者氏名	院長 森田 明夫					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	400床	0床	0床	0床	0床	400床
承認年月日	平成22年8月25日					

### II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

#### 1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	ア 紹介率80%以上	
紹介率	$\text{①} / (\text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤}))$	81.1 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	4,448 人
	②初診患者数	8,615 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	2,135 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	940 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	53 人
逆紹介率	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	110.2 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	6,045 人

#### 2 共同利用の実績

##### (1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	地域医療連携室
登録医療機関数	214 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	214 件

##### (2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	1,408 件
共同診療件数	3 件
高額医療機器共同利用件数	1,405 件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	3.4 %
共同利用可能な医療機器	CT、MRI、RI、マンモグラフィー等
共同利用可能な施設等	開放型病床、図書室、駐車場

### 3 救急医療の提供の実績

#### (1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	3,390 ( 2,135 )
救急搬送以外の救急患者数	0 ( 0 )
合計 (うち初診患者数)	3,390 ( 2,135 )

※括弧内は、初診救急患者数

#### (2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	・24時間体制にて使用可能 集中治療室、救急室、CT室、MRI室、血管撮影室、一般撮影室、検体検査室
優先使用可能な病床数	6 床
専用病床数	6 床

#### (3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	72人	0人
うち専従数	0人	0人
看護師数 (准看護師含む)	312人	0人
うち専従数	26人	0人
薬剤師数	19人	0人
うち専従数	0人	0人
診療放射線技師数	22人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床検査技師数	20人	0人
うち専従数	0人	0人
臨床工学技士数	5人	0人
うち専従数	0人	0人
上記以外の従事者数	0人	0人

#### (4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

### 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

#### (1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	研修委員会
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	20 人
研修施設	院内会議室およびWEB配信

#### (2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	12 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	3 回
研修会延べ参加人数	385 人
うち院外のみ延べ参加人数	125 人
症例検討会の開催回数	2 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	10 回
研修の内容	R6. 10. 30 「高齢者社会における脳神経疾患の治療と対策」 脳神経外科・脳神経内科医師による脳神経領域疾患の治療内容について、認知症治療に関する現状と今後の展望について講義など

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	病院長
管理担当者	総務課長
診療に関する諸記録の管理方法	入院診療録、看護記録、検査所見記録、外来診療録、エックス線写真は医事課（診療情報管理室）、処方せんは薬剤部、手術記録は手術部で保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	病院日誌は総務課、各部署の日誌類はそれぞれで保管。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長		
閲覧担当者	総務課長		
閲覧方法	総務課へ申請。閲覧場所は会議室		
前年度の総閲覧件数			0 件
閲覧者別延べ件数	医師		0 件
	歯科医師		0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		0 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	一般社団法人大森医師会会長		
委員数			15 人
	うち院外		9 人
委員会の開催回数			4 回
委員会の概要	開催日：令和6年7月30日、令和6年9月18日、令和6年12月10日、令和7年3月25日 実績報告として病院の動き及び患者数の動向など統計資料の報告し、委員からの意見聴取を行った。		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談室		
主たる相談対応者	医療ソーシャルワーカー		
相談件数			11,831 件
相談の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院支援（転院援助、在宅退院援助）</li> <li>・経済的問題援助</li> <li>・受療援助</li> <li>・社会復帰援助</li> <li>・治療と仕事の両立支援</li> <li>・福祉制度の案内</li> <li>・心理・社会的問題援助</li> </ul>		

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	NPO法人卒後臨床研修評価機構 認定病院更新 令和5年5月更新 (財)日本医療機能評価機構 機能種別版評価項目 3rdG:Ver. 2.0 令和5年6月認定

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	病院ホームページや連携医向け広報誌及び地域住民向け広報誌にて各部門の紹介や病院の動き、専門外来や専門センターについて掲載をおこなっている。

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	入退院支援センターに看護師9名、医療サポートセンターにMSW5名を配置。入退院支援センター看護師は、入院前面談、自宅退院する患者の調整・支援、退院前後の自宅訪問、退院後に外来通院となる患者の支援を行っている。MSWは、施設、療養型病院、回復期リハビリテーション病院、ホスピス等へ転院・入所する患者の調整・支援を行っている。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	種類：脳卒中連携パス 内容：脳卒中の急性期治療から回復期リハビリテーション、維持期リハビリテーション、在宅移行が円滑に行えるように、リハビリテーション専門病院に対して様式を策定し運用している。 取組：リハビリテーション病院と様式や運用について適宜協議している。